

～軽井沢町の“今”を伝える情報誌～

ボランティア情報

2016年
6月

発行 軽井沢町ボランティアセンター
〒389-0111 軽井沢町大字長倉 4844-1 木もれ陽の里
電話 45-8113 FAX 46-2116

http://www.ktvc.jp Email karu-vc@eco.ocn.ne.jp

町の出来事あれこれ

軽井沢町もいよいよトップシーズンの到来！観光産業が最も盛り上がりを見せる時期でもあります。

軽井沢の冬の寒さを乗り越え、清々しい時期になると気持ちもアガってきますね。

～町かどスケッチ～

社会福祉法人 静山荘さん

3月30日、旧軽井沢地区から三ツ石地区へ引っ越しした静山荘さん。引っ越し後初めての「地域交流会」を開催。当日は利用者さんと三ツ石地区の皆さん、関係者が一同に会し交流！マジックショーで一気にボルテージがUP!!地域の皆さんと一緒に歩んで行きたい！と施設長の古屋野順友さん。施設には地域交流スペースが設けられています。地域の皆さんにとってホットな場所になっていくと嬉しいですね、と話されていました。



地域の皆さんとも和気あいあい。

マジックショー！
その手際の良さに
みんなビックリ！



古屋野施設長さん。
新天地でも変わらず
地域と共に歩んで行
きましょう、とご挨拶。



軽井沢サクラソウ会議の「手前味噌プロジェクト」

～3月31日と4月1日～

今年で、5年目になる味噌づくり。(なぜ軽井沢サクラソウ会議が味噌づくり?)と思われる方も多いでしょうが、自然と一番関わりの深い農業や、お百姓さんのご苦勞を自分たちも体験しようと、完全無農薬、無化学肥料で、昔のお百姓さんのように自然の力に頼った味噌づくりをしてみよう、と始まったプロジェクトです。

休耕地にタネを撒いて収穫した大豆の取れ高は、例年の4分の1! 昨年のおかしな天候のせい、草取りをさぼったせい、原因不明。この危機的状況を、やもなく「大豆購入」という奇策で乗り切って、いよいよ大豆煮です。大釜をかり、燃料も、ボヤと端材。これまた自然にやさしい大豆煮です。大豆が柔らかくなるまで、四方山話に花を咲かせる楽しい待ち時間。

お味噌の風味に一味もふた味も添加した「信頼感」で、今年のお味噌も上手に仕込みました。メダシ、メダシ!



(取材協力)
軽井沢サクラソウ
ウ会議

“二一十” 春の遠足

4月5日、毎年恒例の二一十の遠足。この遠足は春から1年生になる児童を対象にした取り組みで、三ツ石公民館から西部小学校までの通学路をみんなでお弁当を持って歩こう！というもの。

当日はお兄さんお姉さんと混じり新1年生も頑張っておきました。



浅間サンプラインの様子。車の騒音でお話も大声ではないと聞こえません。

実際に歩くと交通量の多さに驚きます。児童たちが通学する時間帯と出勤される自動車の時間帯は近い時間帯ではありませんか？参加した児童たちは道路標識や、交差点の渡り方、見通しの悪い曲がり角などを大人と一緒に「目」で確認していました。

このような取り組みの一つ一つが大切な児童たちの「命」を守っているんだと感じました。



西部小学校へ無事到着。これからお弁当！

“ふれあいの会” の料理実習

3月18日、中央公民館を会場に、軽井沢治育園で活動が続ける、ふれあいの会による料理実習が行われました。普段の園生活とは違った雰囲気を味わってみたいと始めたこの実習。この日は正午からフルーツパフェづくりの仕込みを行い、そのあとグループのメンバーと一緒に治育園の皆さんが美味しそうにパフェをいただきました。

取材中の私も一足お先に“味見”をさせていただきました！

雲場池美しくし隊

4月11日、ボランティアセンター主催の「まちづくりリーダー養成塾」を受講されたメンバーが立ち上げた活動。毎日大勢の観光客や地域住民の方々が訪れる軽井沢の景勝地雲場池の環境美化活動を行っています。



池の周囲に土を入れ、踏み固められた遊歩道を整備しています。

隊長の中山忠夫さんは、以前から雲場池の環境整備をしていたメンバーの一人。今回の活動をとおり「雲場池を世界遺産に！」と意気込まれています。徐々に理解者も増え、この日は行政・社協隊のメンバー15名ほどが集まり、一緒になって汗をかきました。“汗動は感動を呼ぶ！”協働活動のモデルとなっています！



女性陣もいます！力仕事は男性陣！
私たちも頑張ってるのよ。

隊のメンバーは随時募集中。次回の作業は6月6日（月）の午前9時～
集合は雲場池入り口です。

問い合わせ先：代表中山忠夫さん

090-6790-5984 まて

社会福祉普及指定校担当者連絡会

固いネーミングですが、要は軽井沢町内の学校には福祉教育のご担当の先生がおりまして、定期的に集まって意見交換等をしている、という会議です。

第1回目の会議は4月28日に開催されました。意見交換の場ですから、事務説明だけではなく、地域で活動されているボランティアさんたちにもご参加いただいています。文部科学省の学校地域連携本部を中心に、多様化・複雑化する学校教育の現場で、これまで以上に家庭・学校・地域の結びつきが求められており、今後ボランティア活動の場が学校にも広がりを見せることが予想されます。何事を積み重ねです。

第2回目の会議は9月頃を予定しています。



先生方を囲んで様々な意見を交換しました。
学校と地域の連携。形にしていきましょう！

軽井沢高校生徒会 熊本地震募金活動

自分たちにできる最大の役割は、募金を通じて被災地熊本に心を届けることだ、と動き出した生徒会のメンバー。5月2日・6日の2日間軽井沢駅の自由通路に朝早くから立って「熊本地震災害の募金をよろしくお願いします!!」と大勢の観光客や通勤者に訴えました。



少しだけど…と募金をされる皆様。
ありがとうございます！と大きな声で感謝の
エール交換です。

地域の縁側 野あざみ 元気に活動中！

野あざみ5月のイベント～介護は笑いから～と題して、小諸市を中心に活動をされているアマチュアの落語家“林家さんば”さんにご登場願いました。

登場して間もなく笑いの渦が!!落語ってすごい!落ち話の滑らかさにみんなが大うけ!!
「こんなに笑ったの久しぶりだ!」とたくさんの嬉しいご感想を寄せていただきました。

初めて野あざみに訪れた皆さんは、素敵な喫茶店の雰囲気をすっかり気に入られた様子。

6月はいつもどおり毎週水曜日の10時～15時までのサロン。7月は学びの時間として介護保険制度の説明を受けて理解を深めていきます。参加は自由。まずは一度皆さんも訪れてみては?



オーナーの清水さんのご挨拶。「みんなで元気に
なりましょ!」と。誰が来てもいいんです!居
場所ですもの。



滑らかな声に
徐々に引き込
まれ…



気が付くところのとおりに「大笑い!!」

ボランティア募集情報

ぷれジョブ軽井沢からのお知らせ

地域における特別な支援の必要な学齢期の児童生徒に対して、インクルージョン推進に関する事業（ぷれジョブ）を行い、児童生徒の成長を促すことに寄与し、また、佐久地域におけるぷれジョブ活動の推進を中心に活動しています。

ジョブサポーターは、毎週土曜日の午前中を中心に、地域の受け入れ企業さんへ児童生徒さんを連れて“出勤”します。

出来るだけ継続して関わってくださるサポーターさんを募集しています。

気になった方、どんな様子か知りたい方は、以下の二次元コードより情報収集を！



ぷれジョブ in さく連絡協議会

軽井沢町ひとり親家庭の会

子どもたちの学習支援参加者 & 学習支援ボランティア募集！

(長野県委託事業 2016 学習ボランティア事業)

昨年から県下6会場で開催されており、軽井沢町も実施しています。保護者の不在で放課後子どもだけで過ごすことが多いため、学習習慣の定着が不十分なひとり親家庭の児童などに対しての学習支援活動です。参加は無料、教員OBなどの学習支援ボランティアが指導します。

会場：中軽井沢図書館 多目的室

教科：国語・数学（算数）・英語・（理科・社会）

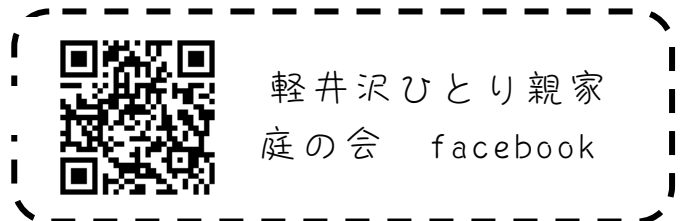
時間：午後5時30分～午後7時30分

日程：月に1～3回 水曜日に開催

対象：小学1年生～中学3年生

(送迎は各保護者でお願いします)

学習で必要なものは各自でご用意ください（宿題・ドリル・教科書など）



軽井沢ひとり親家庭の会 facebook

あなたの特技や生きがいを地域で生かしてみませんか？

毎日の暮らしの中で大切にしている生きがいや趣味を他者におすそ分けしてみませんか。それがボランティア・地域活動の入り口になります。

お問い合わせはボランティアセンターまで。

わたしをつぶやき
週末になると朝早くウォーキングに出かけることがあります。私の自宅の周りにはヤベツとタス畑が広がっていて、清々しさに磨きをかけてくれています。
クマが出没しています。が、クマも人間と同じように甘いものが大好き。特にトウモロコシ畑の近辺ではクマとの遭遇が危惧されています。トウモロコシ畑の周囲を歩くのは危ない危ない・・・。
小学生の頃、祖父と朝の散歩に出かけた際にも、クマがどこかの畑からとつてきたトウモロコシが藪の中にあつた（隠してあつた？）もつたいたいから、と数本いただいた。きたことを思い出しました。
早起きは三文の徳。健康にも昔を懐かし。ことにもつながりますね。新緑を胸いっぱい楽しめる季節がやってきました。
軽井沢は誰もが羨むくらいに木洩れ日と涼風に時を忘れて、都会や日々の喧騒から一度離れたところになり休養できる素敵な町になって行きます。
(VCO)